

## 中部圏No. 1の産地碧南市のブランド人参 『へきなん美人』が出荷のピークを迎えます！

中部圏で最も人参の生産量が多い碧南市では、1月～2月にかけて、ニンジンの収穫のピークを迎えます。この時期は出荷量が多いだけでなく、1年で一番甘い時期です。これはニンジンの防御機能が働き、気温が下がっても凍ってしまわないように、糖分を蓄えるためと言われています。

JAあいち中央碧南人参部会（部会長：永井是充）が生産するニンジンは、「へきなん美人」のブランド名で出荷しています。



機械で収穫します！

### ブランドニンジン「へきなん美人」の特徴

「へきなん美人」という名前のおり、紅色が鮮やかなニンジンです。甘みが強く、ニンジン独特の臭みが少ないので、子どもやニンジンが苦手な方でも食べやすいと好評です。

#### 《色・味、それぞれのポイント》

鮮やかな紅色を出すには、根（食べる部分）が伸びる秋ごろに温度が下がりすぎないことが重要。この地域では約30cmの高い畝を立て、陽が当たる面積を増やすことで地面を温める工夫をしています。

甘みのポイントは品種と碧南の土質。「あいちの伝統野菜」の碧南鮮紅をもとにしたオリジナル品種で、甘みの強い品種です。また、碧南市は人参に最適な水はけの良い土質で、碧南で育てると、「どんなニンジンでも甘くなる」と種苗関係者に言われています。

### 碧南市のニンジン栽培

部会員：170人 栽培面積：180ha

出荷時期：11月15日～3月末 総出荷量：約1万t（中部圏No.1の産地）

ピーク：1～2月（日量：100t出荷。1箱10.5kg。約1万箱）

販路：中京・北陸・関西方面

今年は台風の影響で一部生育に遅れがあったものの、1月以降は回復し、品質も良化する見込みです。

（JAあいち中央碧南ニンジン部会の部会員は全員がエコファーマーに認定されています。平成24年度には日本農業賞の優秀賞に選出されるなど、全国的にも認められた部会です。）

（お問い合わせ先）＊取材にお越しいただく際には事前にご一報ください。

農家の紹介・出荷施設へのご案内もできますので、お気軽にお問い合わせください。

JAあいち中央 総合企画部 企画課（広報担当：岡田・平岩） TEL：0566-73-5504

FAX：0566-73-5513 HP：<http://www.jaac.or.jp/> E-mail：[kouhou@jaac.or.jp](mailto:kouhou@jaac.or.jp)